|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | [UC01]仮想ネットワークを構築する |
| 目的（ゴール） | | 仮想ネットワークを利用者が使用できる状態にする |
| アクター | | 利用者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | 利用者が新たな仮想ネットワークの作成操作を開始する |
| 事前条件 | | 利用者がシステムにログイン済みであること  仮想マシン管理環境が稼働中であること |
| 事後条件 | | 仮想ネットワークが作成され、仮想マシンから接続可能な状態になる |
| 拡張点 | |  |
| 関連ユースケース | | [UC14]ログインする |
| イベントフロ｜ | メインフロー | 1. 利用者はネットワーク名やIP範囲を指定する 2. システムは、仮想ネットワークを作成する 3. 作成したネットワークが仮想マシンに接続可能になる |
| 代替フロー | 2-1. 指定されたIP範囲が他と重複している場合：  → 利用者にエラーを通知し、再入力を促す |
| 例外フロー | システムエラーによりネットワーク作成が失敗した場合：  　→ ログに記録し、利用者にエラー通知する |
| 備考 | | 仮想ネットワークはセキュリティグループやルーティング設定も含むことがある |